

科目	言語文化	学年	第1学年	開講	通年	必修	2 単位
----	------	----	------	----	----	----	------

教科書： 精選 言語文化（明治書院）

副教材： 精選 言語文化 學習課題ノート（明治書院）新精選古典文法三訂版（東京書籍）新精選古典文法準拠ノート改訂版（東京書籍）

基礎から解釈へ漢文必携五訂版（桐原書店） 基礎から解釈へ漢文必携チェックノート基本編（桐原書店）

読んで見て覚える重要古典文法単語315三訂版（桐原書店） 3ステップオリジナル問題集基礎現代文（大学入学共通テスト対策新装版）（尚文出版）

## 1 学習の到達目標

生涯にわたる社会生活に必要な資質・能力を確実に成長させる

## 2 学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考査	評価の観点					
							a	b	c			
前期		・小石を集める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。</li> <li>・我が国の言語文化の特質について理解すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質について理解している。</li> <li>・進んで言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることや、我が国の言語文化の特質について理解し、学習の見通しをもつて、自分の言語文化のルーツについて学ぼうとしている。</li> </ul>	4		○					
							○					
		・児のそら寝 (宇治拾遺物語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説話のおもしろさを味わう。</li> <li>・歴史的仮名遣いの読み方や文語のきまりを理解し、古文に親しむ。</li> <li>・内容や展開などについて叙述を基に的確に捉え、僧たちが児を笑った理由を話し合う。</li> </ul>				○					
							○					
							○					
							○					
		・古文を読むために1 ・古文を読むために2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説話のおもしろさを味わう。</li> <li>・歴史的仮名遣いの読み方や文語のきまりを理解し、古文に親しむ。</li> <li>・内容や展開などについて叙述を基に的確に捉え、僧たちが児を笑った理由を話し合う。</li> </ul>		4		○					
							○					
							○					
							○					
							○					
							○					
前		・大江山(十訓抄)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説話のおもしろさを味わう。</li> <li>・歴史的仮名遣いの読み方や、活用語の活用形や種類、係り結びなど文語のきまりを理解し、古文に親しむ。</li> <li>・掛詞の表現技法とその効果について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・掛詞などの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。</li> <li>・進んで説話のおもしろさを味わい、歴史的仮名遣いの読み方や、活用語の活用形や種類、係り結びなど文語のきまりを理解し、学習課題に沿って、掛詞の表現技法とその効果について理解しようとしている。</li> </ul>	4		○					
							○					
							○					
							○					
							○					
		・古文を読むために3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説話のおもしろさを味わう。</li> <li>・歴史的仮名遣いの読み方や、活用語の活用形や種類、係り結びなど文語のきまりを理解し、古文に親しむ。</li> <li>・掛詞の表現技法とその効果について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・掛詞などの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。</li> <li>・進んで説話のおもしろさを味わい、歴史的仮名遣いの読み方や、活用語の活用形や種類、係り結びなど文語のきまりを理解し、学習課題に沿って、掛詞の表現技法とその効果について理解しようとしている。</li> </ul>	5		○					
							○					
							○					
							○					
							○					
後		・奥山に猫またといふ ものありて(徒然草)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『徒然草』に表れた作者のものの見方、感じ方を捉える。</li> <li>・文語助動詞の種類と用法を理解する。</li> <li>・本文の描写を手がかりに作者の描く法師像について話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古文を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・時間の経過による文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。</li> <li>・進んで『徒然草』に表れた作者のものの見方、感じ方を捉え、文語助動詞の種類と用法を理解し、学習課題に沿って、本文の描写を手がかりに作者の描く法師像について話し合おうとしている。</li> </ul>	5		○					
							○					
							○					
							○					
							○					
		・古文を読むために4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『徒然草』に表れた作者のものの見方、感じ方を捉える。</li> <li>・文語助動詞の種類と用法を理解する。</li> <li>・本文の描写を手がかりに作者の描く法師像について話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古文を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・時間の経過による文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。</li> <li>・進んで『徒然草』に表れた作者のものの見方、感じ方を捉え、文語助動詞の種類と用法を理解し、学習課題に沿って、本文の描写を手がかりに作者の描く法師像について話し合おうとしている。</li> </ul>	5		○					
							○					
							○					
							○					
							○					

かぐや姫の生ひ立ち (竹取物語)	・古文を読むために5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『竹取物語』に描かれた人物の心情などを読み取る。</li> <li>・文語助詞の種類と用法を理解する。</li> <li>・本文中から過去や完了の意味を持つ助動詞を探し、本文のどの位置に現れるかを確認して、物語の構造を捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・掛詞などの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・進んで『竹取物語』に描かれた人物の心情などを読み取り、文語助詞の種類と用法を理解し、学習課題に沿って、本文中から過去や完了の意味を持つ助動詞を探し、本文のどの位置に現れるかを確認して、物語の構造を捉えようとしている。</li> </ul>
・芥川(伊勢物語)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔の人の恋のあり方について理解し、歌物語に親しむ。</li> <li>・内容や構成、叙述を基に人物の心情を考える。</li> <li>・助動詞「なむ」や副詞の呼応などについて理解する。</li> <li>・第三段落があることの構成上の効果について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・進んで昔の人の恋のあり方について理解し、歌物語に親しみ、副詞の呼応などについて理解し、学習課題に沿って、第三段落があることの構成上の効果について考えようとしている。</li> </ul>

・帰京(土佐日記)	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容や構成、叙述を基に人物の心情を考える。</li> <li>和歌などの表現の工夫を味わう。</li> <li>最後の一文と『土佐日記』の冒頭部との対応について話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> <li>・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・進んで日記文学の特徴や成立の背景や、和歌などの表現の工夫を味わい、学習課題に沿って、最後の一文と『土佐日記』の冒頭部との対応について話し合おうとしている。</li> </ul>	9	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
・木曾の最期 (平家物語) ・古文を読むために6	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読する、平曲を聞くなどを通して『平家物語』特有の表現を味わう。</li> <li>軍記物語の文体の特徴について理解する。</li> <li>敬語や音便について理解する。</li> <li>それぞれの場面での登場人物の心情を深く読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・時間の経過による文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> <li>・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・進んで音読する、平曲を聞くなどを通して『平家物語』特有の表現を味わい、軍記物語の文体の特徴について理解し、学習課題に沿って、それぞれの場面での登場人物の心情を深く読み取ろうとしている。</li> </ul>	9	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
・旅立ち(おくのほそ道)	<ul style="list-style-type: none"> <li>『おくのほそ道』の特徴的な文体に親しむ。</li> <li>俳諧の修辞や古典を踏まえた表現など、作者の工夫を読み味わう。</li> <li>人生と旅についての作者の心情を話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・進んで人生と旅についての作者の考えを理解し、俳諧の修辞や古典を踏まえた表現など、作者の工夫を読み味わい、学習課題に沿って、作者の旅への心情を話し合おうとしている。</li> </ul>	10	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
・平泉(おくのほそ道)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人生と旅についての作者の考えを理解する。</li> <li>俳諧の修辞や古典を踏まえた表現など、作者の工夫を読み味わう。</li> <li>「夏草や」「卯の花に」の句を詠む際に想起された歴史上の出来事について調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・時間の経過による文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・進んで人生と旅についての作者の考えを理解し、俳諧の修辞や古典を踏まえた表現など、作者の工夫を読み味わい、学習課題に沿って「夏草や」「卯の花に」の句を詠む際に想起された歴史上の出来事について調べようとしている。</li> </ul>	10	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
・なぜ漢文を学ぶのか ・訓読の世界 ・漢和辞典の使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢文の世界に親しむ。</li> <li>訓読のきまりや熟語の構造を理解する。</li> <li>漢和辞典の使い方を理解し、熟語の意味「創作ゲーム」を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的な背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつている。</li> <li>・進んで漢文の世界に親しみ、訓読のきまりや熟語の構造を理解し、学習の見通しをもって、漢和辞典の使い方を理解し、熟語の意味「創作ゲーム」を行おうとしている。</li> </ul>	11	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>

・朝三暮四(故事成語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短い漢文を読み、文章の内容をその叙述に即して的確に読み取る。</li> <li>・故事成語の由来や意味と、現代の言葉とのつながりを理解する。</li> <li>・身近な「朝三暮四」の例を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の世界に親むために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> <li>・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・進んで短い漢文を読み、文章の内容をその叙述に即して的確に読み取り、故事成語の由来や意味と、現代の言葉とのつながりを理解し、学習課題に沿って、身近な「朝三暮四」の例を考えようとしている。</li> </ul>	11	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
・断腸(故事成語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短い漢文を読み、文章の内容をその叙述に即して的確に読み取る。</li> <li>・故事成語の由来や意味と、現代の言葉とのつながりを理解する。</li> <li>・「断腸の思い」という表現を用いて小話を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・古典の世界に親むために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>・時間の経過による言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</li> <li>・進んで短い漢文を読み、文章の内容をその叙述に即して的確に読み取り、故事成語の由来や意味と、現代の言葉とのつながりを理解し、学習課題に沿って、「断腸の思い」という表現を用いて小話を作ろうとしている。</li> </ul>	11	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
・鶴口牛後(十八史略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史伝の背景を理解し、漢文の世界に親しむ。</li> <li>・史伝に描かれた登場人物の言動・心情・考え方や生き方を学ぶ。</li> <li>・登場人物の説得の巧みさについて話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・古典の世界に親むために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・進んで史伝の背景を理解し、史伝に描かれた登場人物の言動・心情・考え方や生き方を学ぼうとして、学習課題に沿って、登場人物の説得の巧みさについて話し合おうとしている。</li> </ul>	12	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
・春曉・江南春・秋風引・江雪(詩) ・漢詩の手引き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢詩のきまりと表現の特色について学び、漢詩の世界に親しむ。</li> <li>・描かれた状況や心情を考えながら、それぞれの漢詩を読み味わう。</li> <li>・季節と心情の関係について、それぞれの詩を比較し、話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・古典の世界に親むために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・時間の経過による言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</li> <li>・進んで漢詩のきまりと表現の特色について学び、漢詩の世界に親しみ、描かれた状況や心情を考えながら、それぞれの漢詩を読み味わい、学習課題に沿って、季節と心情の関係について、それぞれの詩を比較し、話し合おうとしている。</li> </ul>	12	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
・送元二使安西・勸酒・涼州詞・静夜思(詩)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢詩のきまりと表現の特色について学び、漢詩の世界に親しむ。</li> <li>・描かれた状況や心情を考えながら、それぞれの漢詩を読み味わう。</li> <li>・それぞれの詩の舞台や誰に呼びかけているかを比較し、どのような違いがあるか、話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の経過による言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>・進んで漢詩のきまりと表現の特色について学び、漢詩の世界に親しみ、描かれた状況や心情を考えながら、それぞれの漢詩を読み味わい、学習課題に沿って、それぞれの詩の舞台や誰に呼びかけているかを比較し、どのような違いがあるか、話し合おうとしている。</li> </ul>	1	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
・春望・八月十五日夜、禁中独直、対月憶元九(詩)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢詩のきまりと表現の特色について学び、漢詩の世界に親しむ。</li> <li>・描かれた状況や心情を考えながら、それぞれの漢詩を読み味わう。</li> <li>・杜甫と白居易の当時の境遇と時代背景を調べ、二つの詩を比較して、その違いがどのように表れているか、発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の世界に親むために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・時間の経過による言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・進んで漢詩のきまりと表現の特色について学び、漢詩の世界に親しみ、描かれた状況や心情を考えながら、それぞれの漢詩を読み味わい、学習課題に沿って、杜甫と白居易の当時の境遇と時代背景を調べ、二つの詩を比較して、その違いがどのように表れているか、発表しようとしている。</li> </ul>	1	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>

後 期	<p>・富士山・鳥児塞宮(詩)</p> <p>・日本漢詩を読み、我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</p> <p>・描かれた状況や心情を考えながら、それぞれの漢詩を読み味わう。</p> <p>・富士山やヴェルサイユ宮殿を漢詩の題材とすることの効果について話し合い、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・進んで日本漢詩を読み、我が国の文化と外国の文化との関係について理解し、描かれた状況や心情を考えながら、それぞれの漢詩を読み味わい、学習課題に沿って、富士山やヴェルサイユ宮殿を漢詩の題材とすることの効果について話し合い、発表しようとしている。</li> </ul>	1		<input type="radio"/>	
					<input type="radio"/>	
					<input type="radio"/>	
					<input type="radio"/>	
<p>・論語</p> <p>・『論語』を学ぶことによって、自己のものの見方・考え方を豊かにする。</p> <p>・『論語』の各章から好きな一章を選び、そこに示されている孔子の学問観・政治観・人生観について、話し合つてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「進んで『論語』を読み、そこに現れている孔子のものの見方・考え方を理解し、自己のものの見方・考え方を豊かにし、学習課題に沿つて、『論語』の各章から好きな一章を選び、そこに示されている孔子の学問観・政治観・人生観について、話し合つてまとめようとしている。</li> </ul>	2		<input type="radio"/>		
				<input type="radio"/>		
				<input type="radio"/>		
				<input type="radio"/>		
<p>・羅生門(芥川龍之介)</p> <p>・近代日本文学への入門的な短編を通して、内容や展開を的確に捉えることを学ぶ。</p> <p>・異なる作風の小説を比較して、それぞれの作品の特色をつかむ。</p> <p>・末尾の一文から想像される下人のその後の姿を、文章にまとめるることを通して、舞台設定・構成・描写に対する理解を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</li> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質について理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・進んで内容や展開を的確に捉えることを学び、作品の特色をつかもうとし、学習課題に沿って、舞台設定・構成・描写に対する理解を深めようとしている。</li> </ul>	2		<input type="radio"/>		
				<input type="radio"/>		
				<input type="radio"/>		
				<input type="radio"/>		
<p>・待つ(太宰治)</p> <p>・小説や随想の表現の仕方・特色をつかみ、自分のものの見方・考え方、感じ方を深める。</p> <p>・作品の成立した時代や背景について調べ、作品をさまざまな角度から考える。</p> <p>・「私」が何を待っているかが明確でないのはなぜか、「私」の気持ちと、作者の立場の両面から考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質について理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・進んで小説の表現の仕方・特色をつかみ、成立した時代や背景などさまざまな角度から作品を考え、学習課題に沿って、「私」が待っているものについて考えようとしている。</li> </ul>	2		<input type="radio"/>		
				<input type="radio"/>		
				<input type="radio"/>		
				<input type="radio"/>		

青が消える(村上春樹)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の小説を読み、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をつかむ。</li> <li>現代の社会・文化について、批評する能力を身につける。</li> <li>この小説の設定が1999年の大晦日であるとの意味や、「青」と「ミレニアム」の関係を考え、比喩や象徴の意味を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>我が国の言語文化の特質について理解している。</li> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>進んで作品に表れているものの見方・感じ方・考え方をつかみ、現代の社会・文化について批評する能力を身につけようし、学習課題に沿って、舞台設定や、比喩や象徴の意味を理解しようとしている。</li> </ul>	2	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
・和歌 ・和歌の修辞 ・詩歌の窓	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代から現代にまで続く、和歌の形式を理解し、その代表的作品を読み味わう。</li> <li>見立て・本歌取りなどの表現の技法とその効果について理解する。</li> <li>各歌の季節とテーマを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>枕詞や序詞、本歌取りや見立てなどの表現の技法とその効果について理解している。</li> <li>古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>「読むこと」において、文章の構成、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>進んで和歌の代表的作品を読み味わい、各歌の季節とテーマを考え、学習課題に沿って、和歌の特徴的な表現技法について理解しようとしている。</li> </ul>	3	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
・短歌	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代から現代にまで続く、短歌の形式を理解し、その代表的作品を読み味わう。</li> <li>短歌に特徴的な表現の技法を理解し、語感を磨く。</li> <li>好きな歌を一首選び、心情を表現するためにどのような工夫をしているか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本歌取りや見立てなどの表現の技法とその効果について理解している。</li> <li>我が国の言語文化の特質について理解している。</li> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>「読むこと」において、文章の構成、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>進んで短歌の代表的作品を読み味わい、学習課題に沿って、好きな歌について、心情を表現するための工夫を見つけようとしている。</li> </ul>	3	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
・俳諧	<ul style="list-style-type: none"> <li>俳諧から近現代の俳句へと続く形式を理解し、その代表的作品を読み味わう。</li> <li>俳諧に特徴的な表現の技法を理解し、語感を磨く。</li> <li>印象に残った句を選び、言葉に託された風景や作者の心情を想像する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</li> <li>古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>古典の世界に親しむために、古典特有の表現などについて理解している。</li> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>「読むこと」において、文章の構成、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>進んで俳諧から近現代の俳句へと続く形式や表現の技法を理解し、代表的作品を読み味わい、学習課題に沿って、印象に残った句を選び、言葉に託された風景や作者の心情を想像しようとしている。</li> </ul>	3	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
・俳句 ・俳句の修辞	<ul style="list-style-type: none"> <li>俳諧から近現代の俳句へと続く形式を理解し、その代表的作品を読み味わう。</li> <li>俳句に特徴的な表現の技法を理解し、語感を磨く。</li> <li>印象に残った句を選び、言葉に託された風景や作者の心情を想像する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化の特質について理解している。</li> <li>時間の経過による言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> <li>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>「読むこと」において、文章の構成、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>進んで俳諧から近現代の俳句へと続く形式や表現の技法を理解し、代表的作品を読み味わい、学習課題に沿って、印象に残った句を選び、言葉に託された風景や作者の心情を想像しようとしている。</li> </ul>	3	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
				期末

	・小景異情	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近現代の詩が、古典詩歌の文化的蓄積の上に成立していることを理解する。</li> <li>・作品を、反復表現の効果に留意しながら読み味わう。</li> <li>・「ふるさと」「みやこ」の関係について、作者の生きた時代なども参考にして考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・進んで作品を、反復表現の効果に留意しながら読み味わい、学習課題に沿って、「ふるさと」と「みやこ」の関係について、作者の生きた時代なども参考にして考えようとしている。</li> </ul>	3	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
	・およぐひと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近現代の詩が、古典詩歌の文化的蓄積の上に成立していることを理解する。</li> <li>・作品を、比喩表現の効果に留意しながら読み味わう。</li> <li>・平仮名表記が作品にどのような効果をもたらしているか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・進んで、作品を比喩表現の効果に留意しながら読み味わい、学習課題に沿って、平仮名表記が作品にどのような効果をもたらしているか考えようとしている。</li> </ul>	3	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
	・永訣の朝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近現代の詩が、古典詩歌の文化的蓄積の上に成立していることを理解する。</li> <li>・作品を、方言を取り入れたことの効果に留意しながら読み味わう。</li> <li>・作者の「いもうと」への思いと、作品内の描写がどのように関連しているかまとめめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化の特質について理解している。</li> <li>・時間の経過や地域の文化的特徴などによる言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> <li>・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>・進んで、作品を、方言を取り入れたことの効果に留意しながら読み味わい、学習課題に沿って、作者の「いもうと」への思いと作品内の描写が、どのように関連しているかまとめようとしている。</li> </ul>	3	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
後期 授業評価					

### 3 評価の観点

- ・文章を的確に読み、理解できたか。〔思考力・判断力〕問に対し、自身の意見を明確に述べることができたか。〔表現力等〕  
 ・定期テスト、漢字テストの結果及び課題等提出物の内容、授業への取り組み、出席状況などから総合的に評価。

＜評価算出方法＞

定期考查(100点×4) + 平常点(100点)/500点

※考查素点4：平常点1の割合で算出する。